

CASBEE-建築(新築)2014年版
京丹後市立弥栄病院 新棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境								2.9
1 音環境		2.5	0.40	2.5	1.00			2.5
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		1.8	0.40	1.8	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		1.0	0.60	1.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.6	0.25	3.6	1.00			2.8
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	宿泊部分:3.2%	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策	共用部分:ロールスクリーン・庇を設置、宿泊部分:カーテン、庇を設置	3.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	共用部分:ロールスクリーン・庇を設置、宿泊部分:カーテン、庇を設置	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.1	0.25	2.8	1.00			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		2.0	0.30	2.6	0.38			
1 換気量	自然換気有効開口面積が50cm ² /m ² 以上	3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視			-		-			
2 喫煙の制御	院内禁煙を実施	5.0	1.00		-			
Q2 サービス性能								3.7
1 機能性		3.7	0.40	4.4	1.00			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室病室:13m ² /床以上、多床病室:8m ² /床以上		-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00		-			
3 バリアフリー計画		4.0	0.30	3.5	0.40			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.50			
1 広さ感・景観	病室の天井高:2.5m以上		-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		4.0	1.00	3.0	0.50			
3 内装計画	木調の内装計画、パースによる事前検証		-		-			
1.3 維持管理		4.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	バルコニーを全周設置、タイル・フッ素塗装の外壁仕上げ	5.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	清掃用資材の保管スペース・廃棄物スペースの確保	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.9	0.30		-			3.9
2.1 耐震・免震		4.6	0.50		-			
1 耐震性	建築基準法より50%増の耐震性	5.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給湯館:一般配管用ステンレス鋼管、排水管:硬質塩化ビニル管	4.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			3.2	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	緊急排水槽の設置	4.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	重要機器の設計用耐震水平震度を特定施設の基準としている	4.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.2	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり	共用部分:4.8m、宿泊部分:4.5m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部分:壁長さ比率0.14、宿泊部分:壁長さ比率1.97	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	
1	空調配管の更新性	外壁配管スペースの確保	4.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	外壁配管スペースの確保	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		瓦屋根の設置等の和風デザイン	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30		-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	売店・喫茶の設置、建物利用者とのヒアリングの実施	5.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.85	4.5	0.20		-	4.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.96 住宅(専有部) 0.83	3.4	0.50		-	3.4
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.96	3.4	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)			-	-		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	節水型便器の設置	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.60		-	4.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	1号館躯体の再利用	5.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	特になし	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	陶磁器質タイル、屋内用品(床材)、壁紙	5.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法又はLGS下地の使用、全てボード張り	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	屋内建材のF☆☆☆☆又は規制対象外材料の使用	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量が一般的な建物(参照値)に対して92%	3.1	0.33		-	3.1
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	自転車置き場・管理用駐車場の確保	5.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	